しんろだより ～道～

秋田県立聴覚支援学校　進路指導部
令和５年２月１７日発行
No.９

高等部弁論大会ついて

高等部では毎年、弁論大会が行われています。２月１０日（金）に、高等部と高等部専攻科の生徒が自分の将来や進路について考えていることや自分の成長や生き方など、日頃考えていることをまとめ、一人ずつ発表しました。自分の考えをまとめる中で、自分の人生で影響を受けたことやこれからの抱負を見つめる機会となりました。今回は、「職業」での学習や職場実習での経験が成長につながった２名の生徒の発表を一部紹介します。

「私の成長」　高等部生徒

中学生までの自分は、人前で話すことや、話しかけたり質問したりすることが苦手でした。しかし、高等部に入学して変わりました。

変わったきっかけは、二つあります。一つ目は、販売活動です。製品を買ってもらいたいという気持ちで、お客さんにはっきり大きな声で製品のよさについて伝えることを意識しました。最初は緊張しましたが、製品について説明したり、質問に答えたりすることを繰り返すことで、あまり緊張せずに相手とやりとりができるようになりました。１２月には、ナガハマコーヒーにトレイの納品に行きました。要望を受けて改善した部分や、お店の雰囲気を考えて工夫した部分について伝えることができました。納品後には、新聞記者の方からインタビューを受けました。とても緊張しましたが、質問に対して、自分の考えや思いを伝えられたことに喜びを感じました。（略）

「専攻科で学んだこと」　専攻科生徒

私は専攻科で二年間学びました。今年一年間がんばったことを発表します。

一つ目は、実習先でのコミュニケーションです。会社では挨拶以外の話をするのが苦手でした。仕事中の報告では何を言えばいいかわからないときに、会社の人から話し方を教えてもらいました。また、毎日一緒に仕事をする人が話しかけてくれて、少しずつ雑談もできるようになりました。繰り返し実習をしたことで慣れてきて、私から手話を教えたり、学校の話をしたりできるようになり、うれしかったです。

二つ目は、言葉をたくさん覚えたことです。（略）

これからも専攻科で学んだことを生かして、自分から話しかけたり、いろいろな本を読んだりしていきたいです。

同窓会について

本校では、卒業生同士、卒業生と在校生をつなぐ「同窓会」があります。今回は、同窓会についてご紹介します。

名称：秋田県立聴覚支援学校同窓会（旧　秋田県立聾学校同窓会）

目的：１　会員間の親睦交流を深め、情報を交換し互いに励まし合う。
２　お世話になった母校に感謝し、母校を支援する。

○「母校を支援する」とは…
・　母校発展のために、何か役立つことをする。
（例）創立９０周年記念式典を祝い、同窓会が「記念碑」を建立し、母校に寄贈する。
創立１１０周年記念式典の成功を願い、同窓会から「寄付金」を贈呈する。
・　母校で学ぶ後輩たちの学校生活を応援する。
（例）部活動を支援するために、同窓会から「部活動支援金」を寄付する。
運動会の時に「賞品」の一部を寄付…など。

年会費：個人会員２，０００円　夫婦会員３，０００円
○「会費協力者」の特典
・同窓会会報の送付（年２回）
・同窓会主催行事のご案内
・母校主催の卒業生対象行事のご案内
・そのほか、必要な情報をお伝えします。

＜今年度の様子＞

同窓会からの寄付を同窓会長よりいただきました。

創立１１０周年記念式典には、遠方からも同窓生に足を運んでいただきました。

現会長はＴ・Ｍ様です（第７代）。毎年、同窓会入会式に出席いただき、卒業生にお祝いの言葉と記念品をいただいています。今年度は３月６日（月）を予定しています。

発行内容、お問い合わせについて
進路指導部報「しんろだより～道～」は、保護者の皆様へ進路に関するたくさんの情報をお伝えしていきます。学校ホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧になってください。
（ホームページＵＲＬ：http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/chokaku-s/）
他にも進路に関して知りたい情報や疑問等がございましたら、お気軽に教頭、担任、進路指導部員にお話しください。